チャレンジ！！オープンガバナンス 2022 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名（注１）	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
	-（事務局用）	北九州空港の利用促進	北九州市
チームがつけたアイデア名（公開）（注２）	キタＱ自販機		

（注１）地域課題名は、COG2022 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

（注２）アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

１．応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

チーム名（公開）	北九州もりあげタイ！	
チーム属性（公開）	１．市民、２．市民／学生混成、３．学生	3
メンバー数（公開）	２名	
代表者（公開）	江藤ひなた	
メンバー（公開）	廣岡美乃里	

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

１． 応募の際は、ファイル名を COG2022_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2022 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin_cog2022@pp.u-tokyo.ac.jp

＜応募内容の公開＞

２． アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。

３． 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示ー非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
（具体的なライセンスの条件につきましては、https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja、および、https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。https://creativecommons.jp/licenses/）

４． 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません）

５． この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあり得ます。

＜知的所有権等の取扱い＞

６． 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様でお願いします。

７． 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧下さい。）

アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認	○

2．アイデアの説明（公開）　　(1) アイデアの内容（公開）

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの理由、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。
必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、**魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたくなる**、そしてその結果として、課題が解決される、そんな**わくわく感のあるアイデア**を期待します。**２ページ以内**でご記入ください。

＜応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください＞

遠くても、わざわざ北九州空港に来たくなるような動機づけをすること

＜この課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます＞ ＜アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。＞
＜よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です＞

アイデア：**〈キタ Q 自販機〉**
北九州空港で、北九州のお土産や特産品などが購入できる自動販売機を設置する！

・自動販売機の設置台数と設置場所
北九州空港の開港日が平成 18 年 3 月 16 日であることに由来して、まずは 16 台設置することを目標とする。これらの自動販売機の設置場所は、北九州空港の 2F のロビーに設置する。

この部分に、自動販売機を設置する。

・自動販売機の商品
自動販売機に入れる商品は、一般的な飲料水ではなく、北九州のお土産や特産品など、北九州のものに限定する。例えば、即席の資さんうどんや、シロヤのパン、ネジチョコ、湖月堂のお菓子などである。特に、北九州に本社を置くメーカーのものを中心に、ラインナップを充実させたいと考える。また、商品は食べ物だけでなく、シャボン玉石けんの固形石けんや、スターフライヤーのグッズなど、24 時間いつきても北九州の全てを網羅できるラインナップを目指す。

（群馬県みどり市の即席うどん自動販売機、日テレより参照）

2．アイデアの説明（公開）　(1) アイデアの内容（公開）

（北九州の代表的なお土産：ネジチョコ、
ネジチョコラボラトリーより参照）

（オムレットで有名なシロヤ、シロヤ公式 HP より参照）

・キタ Q 販売機を設置した後

キタ Q 販売機を設置した後は、北九州市・北九州空港・北九州ノコトの 3 業者の公式ラインで、まずは北九州市民への周知を行う。特に、北九州のローカルウェブサイト「北九州ノコト」は、街の小さな出来事でも記事として取り上げてくれ、コアな観点から北九州を発信しており、面白い。そのためか、最近では市内でも「北九州ノコト」を定期的に見ているという人も多い。以上の点から、まずは北九州市のことに興味・関心のありそうな北九州市民への周知を行う。

・周知を行った後

周知を行った後は、『キタ Q 自販機アプリ』を開発する。このアプリ内には、キタ Q 販売機で売られているものや、値段、売り切れ情報を公開する。そうすることで、実際に自動販売機の前まで来たけれど、結局なにを買ってよいか分からないという問題や、商品のラインナップを見て、市民に北九州空港を訪れる目的を持ってもらうである。売り切れ情報は、2 日に 1 回、朝の 9 時に情報を解禁する。

2．アイデアの説明（公開）　　(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由（なぜ）について、それを**サポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明**してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

＜このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます＞
＜先の（１）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するというアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかを上記のデータを示しつつ書いていきます＞

まずここでは、北九州空港の置かれている現状を書き出す。現在、福岡県内には福岡空港と北九州空港の 2 つの空港がある。福岡空港は、福岡市中心部（博多駅）から地下鉄で 10 分程度で行くことができ、アクセスの良さが評価されている。しかし、北九州空港は北九州市中心部（小倉駅）からバスで 45 分程度で、バスの本数も限られている。そのため、「アクセスが悪くて不便である。」、「もっと公共交通機関を増やしてほしい。」という意見が見受けられる（polipoli より参照：https://polipoli-gov.com/issues/JnqWQUH0olFMnHDPSAWU?utm_campaign=kitakyusyucity_1_221014&utm_medium=social&utm_source=polipr）

この現状を踏まえると、「北九州市の中心部と北九州空港を結ぶ公共交通機関（主にバス）を増やす」ことが、北九州空港の利便性向上に繋がり、利用者を増やすことに貢献されるように思われる。しかし、現実問題として市内を走るバスの運転手の担い手がおらず、人材不足である。今でも常に運転手募集の広告や張り紙を見かける。そのため、バスの本数を増やしても、運転する人を用意できない可能性が高いため、上記の課題は却下する。

そこで、現地調査の結果と、チームメンバーのアルバイト先での経験からアイデアのヒントを得た。

現地調査では、北九州市役所と、北九州エアターミナル株式会社様にご協力いただき、北九州空港の館内を案内していただいた。そこで、北九州空港の 2F にある「お土産販売所」に注目した。この販売所に置いてある商品は、一部、北九州市のものが採用されているが、殆どが、「福岡県としてのお土産」や「福岡市をモチーフとしたグッズ」であった。たまたま、チームメンバーの横を通り過ぎた空港の利用者（男性、60 代）が、「お土産いいもんなかったけ、買わんかったわ～。」と奥さんに言っている場面を目撃した。

また、チームメンバーの 1 人が北九州市観光案内所でアルバイトをしている。実際にお客様からいただくお問い合わせとして、「北九州のものが買えるお店はどこにあるか。」、「北九州限定のものが欲しいんだけれど・・・。」というものが挙げられる。現実問題として、北九州のものが買えるお店は、市内でも少ない。市の主要駅である小倉駅であっても、福岡県としてもお土産や福岡市をモチーフとした商品が置かれていることが少なくない。せっかく、北九州市に来てくれた観光客が「ぜひ、北九州市でお土産を買って帰りたい！」と思っているのに、紹介できる場所がないと、申し訳ない気持ちにもなる。ここで、北九州の玄関口である「北九州空港に行ったら、何でもありますよ！」と答えたい。お土産がたくさん揃っている様子や、その中から商品を悩んで選ぶ行為は、空港を利用した人に「楽しかった」と思わせることができ、「また来たい！」と思ってもらえる第一歩になると考える。また、駅などに置かれているお土産は、福岡県や福岡市をモチーフにした商品が多いが、北九州市に観光に来るお客様は、福岡県の観光ではなく、「北九州市であること」を意識して観光に来られる。この点から、すでに福岡県内でも、福岡市と北九州市は別物として認知されており、北九州市というブランドは観光客に根付いていると感じる。

加えて、有人でのお土産ショップではなく、自動販売機でお土産を販売しようとした理由は、人員削減のためである。北九州市では年々、人口流出が問題とされており、働き手も少なくなっている。北九州市空港は市内の主要駅から 40 分以上かかるため、通勤の手段や働ける人も限られてくる。また、北九州空港は 24 時間利用することができ、これは福岡空港との大きな違いである。このメリットを最大限に押し出すためにも、自動販売機を採用した。

以上の点から、北九州市空港で自動販売機で北九州のお土産や特産品を販売したい。

2．アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法**、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

＜アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます＞
＜以下のように分けて書いていきます＞

1．実現する主体
2．実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法
3．実現にいたる時間軸を含むプロセス

1．　実現する主体

自動販売機の誘致→北九州エアターミナル株式会社 様
アプリの開発→チームメンバー

〈アプリ開発について〉
チームメンバーの 1 人が、所属する大学内の自動販売機の情報（値段・ラインナップ）をまとめたアプリの開発に携わっていた。そのため、基盤となるアプリがすでにある。アプリ内の要素を北九州空港のものに変えて使用する。

2．　実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法

ヒト：アプリを開発する人
モノ：自動販売機、自動販売機の商品
カネ：自動販売機を運用する資金

3．　実現にいたる時間軸を含むプロセス

1 年間かけて、地元のメーカーや商社に今回の案を提案し、商品を提供していただく

2．アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）